

平成 30 年度(2018 年度)第 4 回三者懇談会（吹田市立吹田保育園）

- 1 開催日時 平成 30 年 6 月 9 日(土) 午前 10 時 5 分～午前 11 時 55 分
- 2 開催場所 吹田保育園 遊戯室
- 3 出席者 吹田保育園保護者会長、その他保護者 16 名
社会福祉法人こばと会（こばと会理事長、こばと保育園長、その他合同
保育参加保育士 3 名）
吹田市児童部保育幼稚園室職員（保育幼稚園室長、児童部総括参事、保
育幼稚園室参事、保育幼稚園室主幹、保育幼稚園室主任、吹田保育園長、
吹田保育園長代理、吹田保育園保育士）
- 4 議 題
 - 1 合同保育について
 - 2 布団と連絡帳の取扱いについて
 - 3 質疑応答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第 4 回三者懇談会を開会いたします。はじめに資料の確認をさせて
いただきます。

（資料の確認）

2 出席者紹介

吹田市： 三者懇談会の出席者の皆様について御紹介させていただきます。

（出席者紹介）

3 合同保育について

吹田市： 本日は、現在吹田保育園で合同保育を行っている河村保育士と宮城保育士、美
濃保育士にも御参加いただいていますので、実際に合同保育を行って感じられた
ことや、今後の課題などがあればお話しいただきたいと思います

こばと会（河村）： 私は入園進級式とこどもの日のつどい、保育参観に参加させていただきました。
こどもの日のつどい時には、5 歳児が自分で作った鯉のぼりを上げて嬉

しそうにしていたり、長生会の方と竹とんぼを楽しそうに作っていたりしたのが印象的でした。保育参観では、5歳児がお父さんやお母さんたちと大きな山を一生懸命作っていましたし、3歳児はぴかぴかプリンを作っていました。

お父さんやお母さんたちも楽しんでいる姿が印象的で、園児たちの笑顔も素敵でした。引継いだ後もこの笑顔を絶やさずにいるほしいし、今行っている行事を大切に取り組んで行きたいと思いました。

私も保育士なので見ているだけではなく、ついつい参加したくなります。園児たちに面白い顔をしたり、ちょっかいを出したりしていると、私との距離を少しずつ縮めてくれました。これからも行事に参加しながら、園児たちの素敵な姿を見つけていきたいと思います。

こばと会（宮城）： 私は4月に3歳児クラス、5月に4歳児クラス、6月から2歳児クラスを中心に入っています。3歳児クラスと4歳児クラスは男の子が多く、すごく元気でやんちゃな園児たちと夢中になって遊び、時にはバトルをすることもありました。園児たちと散歩にも行きますが、近所の公園で名前しか知らないところもあるので、一緒に出掛けてはいますが、連れて行ってもらっている感じです。

遠足にも一緒に行っています。この前は4歳児と5歳児を見送った後に、3歳児と出かけました。一緒にお弁当を食べたりしながら仲良くなろうと思っているところです。

先日は3歳児、4歳児、2歳児クラスの懇談会に参加しました。クラス懇談会では、お母さんたちが愛情を持って、子育てを楽しんでいる姿を感じることができました。園児たちの名前はどんどん憶えていますので、お母さんやお父さんたちのお名前も早く憶えて、たくさんお話ができたらいいなと思っています。

これから、どろんこやプールも始まるので、園児たちと色々な経験をしながら、この先生と一緒にいて楽しい、園に来るのが楽しいって思ってもらえるようになったらいいなと思っています。そして、そういった思いをこばと会に繋げる役割を担っていけるように頑張っていきます。

こばと会（美濃）： 私は4月に1歳児クラス、5月に0歳児クラス、6月から5歳児クラスに入っています。クラス先生たちと、こういう教材が欲しいな、こういう遊びがしたいなとか相談しながら手作りおもちゃを作ったりしました。

5歳児クラスではバス遠足に付き添いました。バスの中では、園児たちがこうい

うところも見たいなって話をしており、とても嬉しそうな様子でした。現地に着いてからも、いっぱい歩いて動物を見たり、美味しいお弁当を食べたりしてすごく満足そうだったので、一緒に行った私も楽しかったです。

これまで入ったどのクラスの園児たちも、自分たちでやりたいとか、こんなことをしたいという意欲が感じられたので、これから1年経ったときにどれだけ成長しているのか楽しみにしています。また、全てではないですが、クラス懇談会にも参加しました。保護者の方が抱えている優しい思いや、お子さんの成長を喜ぶ姿を感じることができました。保護者同士でも多くの話をされていたので、保護者の方の力もすごく感じました。

これまで合同保育に参加して、吹田保育園の保育を学んでいます。この園は、長生会など地域の方との交流活動や、他の保育所・幼稚園との交流がとても活発だと感じています。そういった点も引継ぎながら1日1日の保育を大切にしています。1月から参加する新しい職員に対しても、しっかりと引継いでいきたいと思っていますので、これからもよろしくお願いいたします。

吹田市： ありがとうございます。続きまして、吹田保育園の保育士からも実際に合同保育を行って感じたことなどをお伝えいたします。

吹田市（保育士）： 私は1歳児クラスを担当しています。4月は高月齢と低月齢のグループに順番に入っていただき、新しい環境に入った園児たちの姿を見てもらうとともに、何をしていくかを引継いでいきました。

新年度当初は、進級児・新入児ともに慣れていなくて、泣いている子も多かったです。その中で安心できる大人との関係づくりや、落ち着いて過ごせる部屋の環境作りを大切にしてきました。低月齢の2回睡眠のこととか、個々の発達に合った育ちをどうやって保障していくかについて引継いできました。

始めの頃は触れ合い遊びをしても泣いていた子が、毎日繰り返す中でちょっとずつ笑うようになってきたり、もう1回してって言うようになってきています。そういった毎日の様子を見てもらいながら、少しずつ変わっていく姿について話をしながら喜び合っていました。

5月からは0歳児クラスに入っていました。この時期は新しい生活リズムに少し慣れてきたかなというところで、大型連休を挟むのでまたやり直しという部分があります。他のクラスの先生たちも応援に来てくれて、園児たちも安心

して過ごせるようになりました。6月に入って他のクラスに行かれた後も、1日1回は部屋を見にきてくれるので、0・1歳児の園児たちも顔をしっかりと覚えていくようです。今後も一緒に共感できる保育を行いながら、引継いでいけるように頑張っていこうと思います。

吹田市（保育士）： 私は4歳児クラスの担任をしています。宮城先生には4月に3歳児クラス、5月に4歳児クラスに入っていただきました。3歳児クラスは、4月から部屋が2階に上がるため、環境が大きく変わります。園児たちも不安があったと思いますが、一人ひとりをしっかりと受け止めていただいたので、みんな安心して園生活を送ることができたと聞いています。

宮城先生は遊びの名人なので、4歳児クラスでは園児たちが興味を持つようなアイデアをたくさん出してもらいました。一つひとつの遊びがよりいっそう楽しいものになっています。また、この時期は友達と一緒にしたいという気持ちがどんどん膨らむ一方で、ケンカも増えてきます。トラブルがあったら、一人ひとりの言葉に丁寧に耳を傾け、大人が全部解決するのはなくて、子供同士で解決できるような関わり方をしてくれます。私もその姿から学ぶことが多いです。

今は2歳児クラスに入っていますが、ことあるごとに顔を見せてくれるので、園児たちも宮城先生が来たって喜んだりしています。宮城先生の姿が見えないときには「宮城先生、今日はどこにいるん」って聞きに来たりしますし、みんな宮城先生が大好きです。

この間のバス遠足の時には、バスが止まっている所まで、宮城先生が見送りに来てくれて、園児たちは嬉しそうに手を振っていました。帰りのバスの中では「宮城先生は迎えに来てくれてるかな」って窓から外を眺めていたのがとても印象的でした。

園児たち一人ひとりの様子を話しながら、1日を振り返ったり、こういう風にしたら良かったという話をしています。忙しい毎日ですが、このような話をしていくことが大事だなと日々実感しているところです。

行事については、ねらいを考えたり、準備段階から率先して参加していただいています。一緒に保育を作っていこうという思いが伝わってきますので、私もその点は見習っていきたいと思っています。

吹田市： こばと会と吹田保育園では、2園会議を開催しながら様々な協議を行っている

ところです。現在の引継ぎ状況について吹田保育園長からお伝えいたします。

吹田市（吹田保育園長）： 保育の引継ぎを積み重ねていくため、昨年 8 月からこばと会と実務会議を繰り返し行い、園運営の全般について吹田保育園の職員から丁寧に伝えてきました。園名・クラス名や保育時間、具体的な保育内容や季節の行事、保護者参加行事、避難訓練、保育教材、保健、給食、職員配置、地域交流と支援事業などです。

特に、吹田保育園は長年地域に根ざした交流が盛んですので、高齢クラブや連合自治会、民生・児童委員さんとの関わり、校区内の小学校や幼稚園との交流については、しっかりと引継ぎを行っているところです。

パート・アルバイト職員の雇用に伴う話し合いも継続的に行っています。今年の 4 月から始まった合同保育では、日々の保育や行事、クラス懇談会に宮城先生と美濃先生が入っており、園児は先生たちにだんだん親しみを持ってきていると感じています。入園進級式やこどもの日のつどい、保育参観、アレルギー会議などの取組については、河村先生にも参加していただきました。実際の取組を見ていただき、その後に感想を出し合って話し合いを行いました。

特に、こどもの日のつどいでは、校区内の高齢クラブの皆さんに手作りおもちゃを教してもらったり、輪投げや魚釣りのコーナー遊び、4・5 歳児が年間交流している吹田第三幼稚園の園児たちと一緒に体操も行いました。こばと会の先生たちも企画から行事に関わり、具体的に参加していただきながら、来年度に向けて引継ぎを行いました。

保育に関わる職員会議に参加してもらうだけでなく、週 1 回の合同保育の運営についての話し合いや、各クラスの保育の伝え合いも行っています。対外的な対応については、河村先生と随時引継ぎを行っていきたいと思っています。

4 布団と連絡帳の取扱いについて

吹田市： 移管後の布団や連絡帳の取り扱いについて、こばと会から御提案があるとお聞きしています。また、すでに移管を終えた南保育園の状況についても御報告をいただきます。

こばと会： 民営化に対する保護者の方の思いは色々あるとは思いますが、引継ぎについては、園児たちを第一に考えていきたいと思っています。こばと会の職員だけな

く、吹田市の職員や吹田保育園の保護者の皆さんの御協力をお願いいたします。

南保育園では皆さんの関係がしっかりと構築され、南保育園の職員とこばと会の職員が、園児たちのことを第一に考えて引き継いだことでうまくいったと思っています。移管後の南保育園でも、入園進級式やこどもの日のつどい等の行事を行いました。昨年と変わらないやり方で、しっかりと引き継ぎができています。

南保育園でも実施したことで、吹田保育園の保護者の皆様をお願いしたいことがあります。来年1月から、各クラスの担任を予定している保育士が合同保育に参加します。吹田保育園の現在の担任の先生も含めて、その保育士と保護者の方の三者で面談を行いたいと思っています。保護者の方が気になっていることを教えていただきたいですし、個別にお話することで新しい職員との関係もできると思います。お忙しいと思いますが、御協力をお願いします。

事前にお伝えしていませんでしたが、2点ほど御連絡があります。こばと会は社会福祉法人ですので、来年4月から社会福祉法人こばと会吹田保育園として、大阪府社会福祉協議会の保育部会に加入します。その結果、「よい子ネット」という、園から保護者の方への一斉メール送信システムが使えるようになります。

4月1日からの稼働は難しいと思いますが、使用できるようになれば保護者の方に登録方法をご説明させていただきます。天候が悪くて園が休園になる場合や、運動会などの行事が中止になる場合にはメールを一斉送信できるようにしたいと思いますので、あらためて御案内をさせていただきます。

もう1点は延長保育料の徴収方法の変更です。金額と時間設定の変更はありませんが、現在の口座引き落としから現金徴収に変更させていただきたいと思っています。そして、安全対策もちろんですが、現金の取扱いが増えることに伴い、監視カメラ等の防犯システムを導入する予定ですので、よろしくをお願いいたします。

次に、連絡帳についてです。南保育園と同じように、吹田保育園用の連絡帳を作成したいと考えています。ただ、新しく作るノートを必ず使わないということはありません。こばと保育園でも同じような連絡帳がありますが、ずっと同じノートを利用される方もいますし、市販の大学ノートを利用される方もいます。

南保育園では、40周年の記念式典をされた時のデザインをもとに新しい連絡帳を作成し、移管時に1冊をプレゼントさせていただきました。南保育園と同様に、吹田保育園でも、どの連絡帳を使うかは保護者が選択していただけますのでご安心ください。

最後に布団の件です。南保育園と同じ方法で考えています。移管の際に、吹田市から布団が譲渡されますので、現在の在園児については、そのまま同じ布団をお使いいただけます。現在、吹田市が行っている布団乾燥も同様に行います。ただし、現在使用している布団が何らかの理由で使えなくなった場合には、ご自身で用意していただくことになります。

来年4月に入園される新入園児については、新しくお布団を用意していただくか、卒園した5歳児が使っていた布団をお渡ししますので、それを使っていただきます。布団の丸洗いは行いますが、数に限りがあります。シーツ交換や布団干しについては現状通りです。ただ、布団乾燥については、新入園児の布団には行いませんので、持って帰って洗濯等をしていただきたいと思います。

在園児については、これまでのルールを変えることないように法人として努力いたしますが、新入園児については、予算の関係もあって多少対応を変えざるをえません。御理解をいただきたいと思います。

事務局： 保護者の皆様から御質問をいただいておりますので、こばと会と吹田市から回答させていただきます。

(こばと会から回答)

(吹田市から回答)

5 質疑応答

吹田市： 保護者の方からの御質問や御意見をお伺いしたいと思います。

保護者： 先ほど入園進級式のお話がありました。私もその場に参加していきまして、子供や先生たちがお歌を歌っている姿を見て、とても感動しました。その後に合同保育職員の紹介があり、民営化によってこれまで時間をかけて築いてきた保護者・子供たちと先生たち・園との信頼関係が急に変わってしまうのではないかと、民営化を行うことは子供の成長や発達にとって本当に良いことなのかなどを、色々と考えさせられました。今後予定している民営化についても、いったん立ち止まり、本当に子供の成長を中心に考えるべきではないかと思いましたので、要望として申し上げておきます。

また、民営化に関しては、引き受ける法人の負担がとても大きいと思っています

す。こばと会は、国、府、市に働きかけていきたいと言われていましたが、吹田市としては、どのように考えているのか教えてください。

吹田市： 4月から合同保育が始まり、保育士2人と園長予定者に来ていただいています。円滑な引継ぎを進めるため、こばと会には本当に御協力をいただいています。できるだけ、保護者の方や園児たちに負担をかけないように市の職員も頑張っていく必要があるとあらためて痛感しているところです。

5園の民営化は計画通り実施することになりますが、保護者の方へのアンケートやこばと会からのヒアリング、職員からの聞き取りを含めてしっかりと検証を行い、結果については保護者の方にもお伝えいたします。

法人に対しては、民営化事業を進めていく上で、できるだけ負担を少なくしたいと考えてきました。パート・アルバイト職員の継続雇用に対する人件費の補助は難しいですが、合同保育の人件費には、約1,400万円の予算を計上しています。この金額は他市の事例と比べても、手厚いと思っています。施設の修繕費用も、移管前の2年間でそれぞれ約300万円の予算を計上し、できる限り要望に応えながら進めてまいりました。

また、民営化に限らず、全ての私立保育所・認定こども園の職員が働きやすくなるための施策を進めています。例えば、2人目のフリー保育士の人件費の補助や、保育士の宿舍借上費用を10年間補助したりしています。様々な機会を見つけて国や府に要望していきたいと思います。

保護者： 保育所に限らず、今は色々なものが民営化されています。先日、大阪市営地下鉄が民営化されましたが、私たちはそれほど混乱していません。その理由の1つは職員があまり変わっていないからです。しかし、吹田保育園の民営化は、多少の引継ぎがあるとは言っても、4月から先生たちが一斉に変わってしまいます。

そこで考えていただきたいのが、出向制度のようなものがないかということです。吹田市の職員のまま、こばと会の園でそのまま働くことができる制度です。そういった制度があれば、保育の質を担保しながら混乱も避けることができます。民営化を避けることができないとしても、吹田市でそういったモデルケースに取り組んでいけば、全国に広がっていくことも考えられます。今日すぐにとするのは難しいと思いますが、是非検討をしてほしいです。

吹田市： 園児への負担を最小限に留めるために、合同保育と引継ぎ保育を行うこととして
います。合同保育は、移管の1年前から2名の保育士と園長予定者に、3か月
前から担任の予定者等に来ていただき、しっかりと引き継ぐこととしています。
そして、移管後は幼児担当の保育士1名を3か月間、乳児担当の保育士2名を6
か月間園に訪問して保育状況の確認を行います。この仕組みは当該園の園長や保
育士も含めて検討したものです。

出向というやり方ではありませんが、この方法によって円滑な引継ぎを進めて
いきます。私立保育所の運営は事業者の方が行いますので、市の職員が助言を行
うことはありますが、職員配置の中に組み込むような制度は考えていません。

ただ、平成27年度から新しい制度が始まり、保育ニーズの高まりに伴って保育
士の確保が困難になってきています。今後は様々なことを考えていかないと思っ
ていますので、貴重な御意見としてお伺いしておきます。

保護者： 是非、心に留めておいてほしい子供の一言があります。今は、卒園児の小学生
たちが園に来ると先生たちがお話を聞いてくれます。でも、それは自分たちの担
任の先生だからできることだと思えます。私の子供も卒園してから先生に会える
と思っていたようなので、吹田保育園は無くなるとはっきり伝えました。そうし
たら、「何で園がなくなるの、何で先生たちに会われへんの」って泣かれました。
これまでの卒園児たちができたことが、うちの子から下のクラスの子供たちはで
きないんだなと思えました。

転校すると子供の成長に影響があると聞いたことがあります。民営化は転校
よりもひどいと思いますので、吹田保育園は無くさないでほしかったです。こば
と保育園の良いところは分かりますが、子供たちが通っているのは吹田保育園で
す。大人の都合ではなく、子供たちのことを本当に考えてほしいと思いました。

次に、連絡帳の件です。乳児の連絡帳は違う形式になっていますが、移管後は
全クラスが同じになるのでしょうか。現在の乳児のノートは細かい内容を書くこ
とができるように、様式も工夫されています。非常に書きやすいので、そこも変
わってしまったら保護者は戸惑うのではないかと思います。

吹田市： 民営化することによって、運営主体や先生たちが変わりますので、園児に様々
な影響があるのはおっしゃる通りです。参考までに、この4月に民営化された南
保育園の状況をお伝えいたします。南保育園も、吹田保育園と同じくこばと会に

引き受けていただいています。保護者の方の御意見をお聞きしながら、園児たちへの対応もしっかりと行っていただいたこともあり、4月以降に園児たちが不安がって泣いていたというようなことはありませんでした。その実績は非常に高く評価されています。

先ほども申し上げたように、環境の変化による影響をできるだけ少なくするために様々な工夫を行ってきました。市としては、待機児童がまだまだ多い中で、新しい保育所の設置や、子育て支援施策の財源を確保するために民営化を行うという判断をさせていただきました。しっかりと引継いでいくために園の保育士たちも努力していきますので、御理解をいただきたいと思います。

こばと会： 連絡帳の説明が不足していました。基本的には、現在の吹田保育園のやり方を引継ぎますので、乳児については現在と同様です。幼児になった時に、そういったノートもありますという御提案をさせていただきました。

保護者： アレルギー会議を行わないことによって、これまでに何かトラブルがあったことはありますか。

こばと会： ありません。

保護者： 以前に、外に干していた布団が取り込まれないまま雨に濡れて、次の日に使える布団が無くなってしまったことがありました。その時は、園に残っていた別の布団に取り換えてもらいましたが、予備の布団がないと対応できないと思います。移管の際に、残っている布団を全て新入園児にあげてしまった後、急遽布団が必要な事態が発生した場合はどのように対応するのでしょうか。保護者が新しく購入しないといけないのか、そういう場合に備えて多少の布団を用意してくれるのか教えてください。

次に連絡帳の話です。現在の連絡帳は、3歳児から5歳児まで中身を印刷してくれています。先ほど、新しい連絡帳を作成して1冊はプレゼントしてもらえるとお聞きしましたが、引き続き印刷してくれるのであれば、今のまま使いたいとも思っています。どのように対応してもらえるのでしょうか。

こばと会： こばと保育園では、卒園児が布団を置いていかれることもありますので、園の

備品としてはあります。先ほどの例のように、園のミスで布団が使いなくなったような場合には、園で対応を行います。

連絡帳については選択可能ですので、これまで通り印刷したプリントを使っていただいてもいいです。

保護者： 連絡帳は統一した方がいいのではないのでしょうか。選択式にすると園児や保護者の間でも混乱が起きると思います。現状のやり方を維持しますと言ってくれた方が楽です。

こばと会： 検討させてください。こばと会ではずっとこのような連絡帳を作ってきましたので、同じようにしたいと思っていました。強引に何かを変えようというつもりはありません。

保護者： 延長保育料を現金徴収に変更する理由を教えてください。また、いったん現金徴収にした後に、口座引き落としに戻す予定はありますか。

こばと会： 口座引き落としを行うと一定の経費がかかりますので、今後も現金徴収でお願いしたいと思っています。

保護者： 延長保育料は、翌月の1か月以内に支払えばいいですか。

こばと会： 月末で締めて、翌月に請求書を集金袋に入れてお配りしますので、その月中にお支払いをお願いします。忘れている場合には、声をかけさせていただきます。

保護者： こばと会では、園外キャンプを実施していると聞いています。費用も含めて様子について教えてください。

また、言葉が悪いですが、いわゆる素行が良くない園児に対して、退園を迫る私立保育施設があると聞いたことがあります。その点はいかがですか。

こばと会： 今日は資料を持ってきていませんが、バス代や宿泊費用、食費などの実費を負担していただいています。園外キャンプのために4歳児の時から毎月積み立てをしており、最終的に精算をして残った額は返金します。

園外キャンプの内容としては、7月にこばと会の3園が合同で三田市の野外活動センターに行き、1泊2日で行います。さくら保育園とさくらんぼ保育園が歩いていける距離にあるので、当日は2園の5歳児が1台のバスに乗ります。そして、こばと保育園の5歳児は1台のバスに乗って、現地で落ち合います。一緒に川遊びや虫とり、キャンプファイヤーを行っています。

こばと会では退園を迫るようなことはありません。丁寧に保育を行っておりますし、保護者の方ともしっかりとお話をして対応しています。

保護者：うちのクラスは保護者同士の仲がいいので、集まって親睦会を開いたりしています。そして、業務ではないですが、可能であれば先生たちにも参加してもらい、色々なお話をお聞きしています。お迎えの時に少しだけお話をするのは違って、砕けた感じでやり取りができるので、先生たちとの関係を良くする側面もあると思っています。移管後もこういったことを続けていいのか教えてほしいです。

こばと会：こばと会の保育園では各クラスに保護者会の親睦係の方がいますので、その方を中心にして保護者間の親睦を深めてもらっています。仕事ではないので、自主性に任せていますが、担任たちも参加することがあるという話は聞いています。

あくまで、職員の自主的な参加が前提となりますが、保護者の方と職員たちが良好な関係にあるということは、園児の安心にも繋がると考えていますので、こばと会に引継いだ後も禁止するつもりはありません。

保護者：職員配置についてお伺いします。当番時間帯のパートの先生の配置を公立の基準通りでしていただけるでしょうか。また、7時の開園時と19時の閉園時は、公立では正職と有資格のパートが望ましいということで、必ず2名で行っています。そういった点もきちんと引き継いでいただけるのかお聞きしたいです。

こばと会：基本的には公立の職員配置に近づけるようにしたいと思っていますが、かなりの人件費がかかりますので、運営状況を確認しながら考えていきます。朝夕の2名配置については国の基準なのでしっかり配置し、正職と有資格のパートを充てたいと思っています。

保護者：連絡帳や布団の話が出ていましたが、それ以外は基本的に変わらないのでしょ

うか。例えば、マークや帽子とか。マークは6年間同じものを使うので、手作りされている保護者もいます。また、子供たちは来年〇〇組さんになると思っているので、クラス名も変えないでほしいです。

こういった細かい内容に変更がある場合には、随時、今回のような提案をしていただけるのか教えてください。

こばと会： クラス名や園歌などは変えませんが、何か変更を考える場合には御提案をさせていただきます。

保護者： 保育士や看護師の配置予定人数をお聞きしましたが、現在の確保状況を教えてください。また、最終的な確保人数についてどのように考えていますか。

こばと会： まだ全員を確保しているわけではありません。現在の吹田保育園の園児数から考えると、保育士は18名で足りると思っています。看護師は1名を配置することになっていますが、2名は難しいと考えています。

保護者： 基本的な内容はそのまま引き継ぐと思いますが、細かい点でいくつか変更する部分も出てくると思っています。そういった点について、最終的にはいつ頃までに判断される予定でしょうか。

こばと会： 行事を計画する段階や、実施後に保護者の方や職員の意見を聞いて、こうした方がもっと良い内容になるのではないかと考えた時には、提案をさせていただこうと思っています。その他のシステム的なことで何か変更が生じる場合には、この三者懇談会の場で御説明させていただく予定です。

来年1月頃までにはと思っていますが、南保育園での経験から申し上げますと、保育の中身や、保護者の方・園児たちに影響があることは大きく変わらないと思っています。

保護者： 先ほどお話があったメール送信システムでは、具体的にどのような内容の連絡が来るのでしょうか。昨年の運動会の日は天気が悪く、園から実施の判断について直接お電話をいただきました。移管後は、こういった場合に電話ではなく、メールでの連絡になるのでしょうか。

こばと会： 運動会を含めた行事の開催が危ぶまれる場合は、一定の時刻までに判断してメールで送信することになります。台風などの災害等の時には、お迎えに来てほしい等の緊急連絡も一斉送信します。また、こばと会では子育て支援事業もやっており、育児教室の御案内などにも活用しています。

保護者： 園での写真販売はどうなりますか。

こばと会： 現在のやり方をそのまま引き継ぎます。写真の金額については、現像にかかる費用などが上がらない限りは値上げをしません。

保護者： 予定している保育士をまだ確保していないというお話がありました。保育士が足りなくて、閉園されても困りますので、市も協力してほしいと思います。

吹田保育園は他の保育所や幼稚園と交流しており、子供たちも楽しみにしています。移管後も現在の行事はそのまま続けていくと聞いていますが、こういった交流も是非続けてほしいと思っています。

次に、今日はこばと会の先生たちが来られています。実際に吹田保育園の園児を見て、ここは少し違うなとか感じたことがあれば教えてほしいです。そういった点を埋めていかないと混乱が生じるかもしれません。

こばと会： 現在も吹田保育園、東保育園、吹田第三幼稚園、こばと保育園で4園交流をしていますので続けていきたいと思っています。また、卒園後は吹田第三小学校に行きますので、吹田第三小学校とも交流を行っていきたいと思っています。ただ、私立保育所に変りますので、これまで通りプールを貸していただけるかどうかは、あらためて相談すべき内容だと思っています。この点は吹田市にも協力をお願いするつもりです。

こばと会（河村）： 私はこれまで3つの行事とアレルギー会議に参加してきました。今後、参加していく中で少し違うなと思った時は、吹田保育園の先生たちに確認していきたいと思っています。

こばと会（宮城）： みんなどろんこが好きだし、友達が大好きです。時には喧嘩をしたり、

甘えたりもします。園が変わっても中の園児たちは全く変わらないので安心していきます。

こばと会（美濃）： 個人差があったり、配慮をしないといけないことは当然あると思いますが、0歳から5歳までの園児は、基本的にどの園でも一緒だと感じています。ただ、大人たちが保育の工夫をしながら、どのように関係を作っていくのかを考えることが大事だと考えています。

吹田市： 実際に待機児童が多く発生している中で、保育士の確保で苦労しているということは確かです。ただ、吹田市では、現在も多くの私立保育所等の認可手続きを行っています。保育士が集まらなくて開園できなかったということは1度もありませんでした。

保護者の方が抱えている不安なお気持ちは、貴重な御意見として受け止めておきます。来年4月からこばと会にお願いするわけですが、今後も様々な形で協力していきますので、よろしくお願いいたします。

6 閉会

吹田市： 他に御意見・御質問がないようでしたら、本日は終了時刻を過ぎておりますので、これで三者懇談会を終了いたします。

次回の開催日時につきましては、こばと会や保護者会長と調整させていただきます。本日は御参加いただき、ありがとうございました。